

大館能代空港 羽田便の増便が決定! 1日3往復へ

羽田便の増便が決まりました!

国土交通省が実施する「羽田発着枠政策コンテスト」において大館能代空港が採択され、羽田便の増便が決定しました。羽田発着枠政策コンテストは、地方路線活性化に向け優れた提案をした空港に路線を配分するというものです。今回の決定により、大館能代空港発着の羽田便は、現在の1日2往復から3往復になります。運航開始は2020年冬ダイヤから(2020年10月25日～)の予定です。



総合政策課政策係 ☎62-6606

津谷市長コメント

新型コロナウイルスの影響で自粛ムードが続く中、大館能代空港の増便決定という明るいニュースが届き嬉しい限りです。今回、当空港のエントリーにご尽力いただいた全日本空輸株式会社様、並びに関係の皆様すべてに心から感謝申し上げます。北秋田市では、伊勢堂岱遺跡をはじめとする「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録が控えているほか、マタギ文化についても日本遺産認定を目指して取り組んでおります。これらは国内外の多くの方々へPRできる強力な観光資源となることから、これらを主軸に森吉山や秋田内陸線など、当市にあるたくさんの魅力についてさらなる磨き上げを行い、新型コロナウイルス収束後には3便化により期待される多くのお客様を受け入れられるよう、地域の皆様と一丸となり進めていく考えです。3便化となることで国内外の乗り継ぎの利便性が格段にアップしますので、新型コロナウイルス収束後には思う存分空港を利用してお出かけいただきたいと思っております。当市としましても、そのためのお手伝いができればと考えておりますので、今後も引き続き圏域の関係団体と連携し利用促進に力を入れてまいりたいと考えております。

縄文小ヶ田駅に看板が設置されました



▲3月に駅名が改称された「縄文小ヶ田駅」



▲看板設置作業

3月に駅名が改称された「縄文小ヶ田駅」で、5月12日(火)に小ヶ田自治会(中嶋政之会長)がボランティアで駅名の看板取り付け作業を行いました。今回の看板設置は、「ホーム側からは駅名標などで駅名は分かるが、道路側からは何の駅か分からないので、駅名の看板があれば」という地元住民の声によるものです。1文字ずつ駅名がプリントされたアルミ製の看板(縦横60センチ)を待合室の壁に均一に貼る作業を自治会員6人で行いました。最後の「駅」の看板は秋田内陸線縦貫鉄道の吉田裕幸社長が取り付けました。中嶋会長は「駅名が改称され、急行列車も止まるようになった。内陸線を応援して伊勢堂岱遺跡や縄文館にたくさんの人に来てもらい、遺跡が世界遺産になるようにアピールしたい」と話しました。

北秋田市 地域おこし協力隊 きたあきたの魅力発掘 vol.27



高橋了介隊員

「何が出来るかお楽しみ?」皆さまこんにちは! 北秋田市地域おこし協力隊の高橋了介です。今年で最後の活動となりますが、商工観光課に新たに地域おこし協力隊が2名着任したので、4月から新たな気持ちで始められそうです! ただ、新型コロナウイルスで高橋の活動にも影響が出てしまいました。イベント自粛が続いており、高橋が予定していたイベントが全て延期や中止となってしまい、途方にくれており、少々ネタ切れになりそうになっています。しかし、このまま何もしないままでは時間が勿体ないので、現在、起業を目指しながらその傍らで「とある物」を作っております。打当マタギのシカリ、鈴木英



▲『とある物』

雄さんをお願いして『とある物』を頂きまして、時間がある時に製作しています。初めて作るの、事前にインターネット等を駆使し、色々情報を集めました。中にはマニアックな方もいたりして、情報を集めながら日々勉強している感じです。出来上がったあかつきには、皆さまへお見せする事は出来ると思いますが、まだ製作中なので、出来てからのお楽しみにしてください(笑)

市長ダイアリー

◇ 4月16日～5月15日

16日(木)▽市内私立7保育園より要望書提出(本庁舎)

17日(金)▽特措法に基づく第2回北秋田市新型コロナウイルス感染症対策本部会議(本庁舎)

27日(月)▽北秋田市議会全員協議会(本庁舎)

30日(木)▽暁商工(株)および(株)フジモト、マスク寄贈(本庁舎)▽地域おこし協力隊米倉信人隊員退任式(本庁舎)

1日(金)▽臨時記者会見(市のコロナ緊急経済対策)(本庁舎)

7日(木)▽特措法に基づく第3回北秋田市新型コロナウイルス感染症対策本部会議(本庁舎)

14日(木)▽北秋田市教育委員会委員佐藤正俊氏任命書交付式(本庁舎)



YouTubeの北秋田市公式チャンネルで県外在住の市民や北秋田市出身者に、新型コロナウイルスの対応について呼びかける津谷市長(4月22日に公開)